

2019 年度立命館大学人間科学研究所年次総会

子ども虐待を乗り越える・・・

子どもの育ちを支える「社会的養育」の構築

—日本とフランスの多様な家族における育ちの比較研究をととして—

近年、社会的養育で暮らす子どもの育ちの場が、施設中心の制度から家庭的養育（里親、養子縁組、ファミリーホーム等）へとシフトしつつあります。そうした動向をうけ、本年度より人間科学研究所でも「ハッピーゆりかごプロジェクト」で成果をあげている日本財団の助成により、里親支援のリーダーを育成する「フォスタリングソーシャルワーク専門講座」の開設や社会的養育研究をすすめるプロジェクトに着手しました。そこで、今回のシンポジウムでは、日本での里親委託や養子縁組など非血縁家族における親子関係の現状を把握し、社会全体が子育てを支える方策について、日本とフランスの比較をもとに考え、子ども虐待を乗り越えるための社会形成の具体像を探りたいと思います。

社会的養育に積極的な役割をはたしているプロジェクトの取り組みをもとにした日本の現状について、日本財団の高橋氏よりご報告いただきます。さらに、フランスで社会的養育のフィールドワークを行っている安發氏より、フランスの社会的養育を支える非血縁家族についてご講演いただきます。

お二方の講演を受けて、第3部のパネルディスカッションでは、フランスの取り組みを参照軸にしながら、日本における子どもや実親を含む非血縁家族への支援について検討します。

研究者、大学院生、学部生に至るまで、人間科学や対人援助における最新の研究潮流に関心をお持ちの方々の積極的なご参加をお待ちしております。

2020 2/4 火 12:00 - 17:10

参加
無料 要事前
申込立命館大学 朱雀キャンパス
1階 多目的室

参加無料・要事前申込【お申込締切 2020年1月31日】

※締切後のお申込みは、電話・メールにてお問合せください。



12:00-13:30	第1部 ポスターセッション 会場：1階 多目的室 ※会場に軽食をご用意いたします。 ※発表者・演題・抄録は人間科学研究所HPで掲載いたします。
13:45-14:00	第2部 開会挨拶 松田 亮三（立命館大学人間科学研究所所長／産業社会学部教授）
14:00-15:20	基調講演① 「日本における里親委託及び養子縁組の現状」 講師：高橋 恵里子（日本財団 国内開発事業部チームリーダー） 基調講演② 「フランスにおける非血縁家族の現状」 講師：安發 明子（フランス在住コーディネーター）

15:35-16:55	第3部 パネルディスカッション 「非血縁家族を取り巻く状況の日仏比較と今後の展望」 パネリスト：中村 正、高橋 恵里子、安發 明子 司会：徳永 祥子（立命館大学衣笠総合研究機構客員准教授）
16:55-17:10	閉会挨拶 中村 正（立命館大学産業社会学部教授）

お申込方法

お申込みは、E-mailまたはFAXにてお願いいたします。件名を「人間科学研究所年次総会予約」とし、①お名前 ②ご連絡先 ③ご所属 ④参加プログラムをご記入のうえお送りください。なお、情報アクセス保障ご希望の場合は、お早めにその旨ご連絡をお願いいたします。

E-mail: ningen@st.ritsumeai.ac.jp FAX 075-465-8245

主催等・お問い合わせ

[主催]

立命館大学人間科学研究所

TEL 075-465-8358 FAX 075-465-8245 E-mail ningen@st.ritsumeai.ac.jp

[助成]

公益財団法人 日本財団

子ども虐待を乗り越える・・・

子どもの育ちを支える「社会的養育」の構築

—日本とフランスの多様な家族における育ちの比較研究をとおして—

登壇者紹介



高橋 恵里子 (たかはし えりこ)

上智大学卒業後、ニューヨーク州立大学修士課程修了。1997年から日本財団にて海外の障害者支援や国内助成事業を担当。『助成という仕事』(明石出版)、『ルーマニアの遺棄された子どもたちの発達への影響と回復への取り組み』(福村出版)の翻訳に関わる。2013年に日本財団「ハッピーゆりかごプロジェクト」を立ち上げ、子どもが家庭で暮らすことのできる社会を目指した特別養子縁組や里親に関する啓発、政策提言、調査研究事業等を行っている。



安發 明子 (あわ あきこ)

パリ在住コーディネーター、通訳。日本にて生活保護ワーカーを経て日本とスイスの施設で育つ子どもについて『親なき子』(ペンネーム島津あき)を執筆。フランス国立社会科学高等研究院社会学修士、健康社会政策学修士。現フィールドはパリ郊外児童保護施設、不登校支援施設。



中村 正 (なかむら ただし)

立命館大学産業社会学部 / 人間科学研究科教授。人間科学研究科の創設に携わる。人間科学研究所運営委員。専門は社会病理学、臨床社会学、社会臨床研究。暴力や虐待の加害者臨床も実践している。内閣府男女共同参画審議会「女性への暴力専門調査会委員」等もつとめる。『家族の病理とドメスティックバイオレンス』(作品社)、『治療的司法の実践』(第一法規)等多数。



松田 亮三 (まつだ りょうぞう)

立命館大学産業社会学部教授 / 人間科学研究所所長。専門は、医療政策、社会政策。近年は、刑務所医療機構、エンドオブライフ・ケア政策等を研究している。『社会保障の公私ミックス再論』(共編著、ミネルヴァ書房)等、論文・著書多数。



アクセス

立命館大学朱雀キャンパス

- ▶ JR「二条駅」下車、徒歩約2分
- ▶ 京都市営東西線「二条駅」下車、徒歩2分
- ▶ 阪急「大宮駅」下車、徒歩約10分

主催・お問い合わせ先

立命館大学人間科学研究所

TEL 075-465-8358 FAX 075-465-8245

E-mail ningen@st.ritsume.ac.jp

ご来場には公共交通機関をご利用ください

- * 専用駐輪場がございませんので自転車・バイクでのご来場もご遠慮ください。
- * キャンパス内は全面禁煙です。
- * メイン会場の席数には限りがございます。